

運転士教育 年間計画表（実施時期）

<平成22年度>

研修名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
事故防止委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月1回
事故惹起者実技指導	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
運転技術研修（自社）		○	○	○	○	○			○	○	○	○	全員参加
適性診断受診	○											○	随時開催
添乗教育	○											○	随時開催
安全運転研修（外部）			○									○	中央研修所
安全運転研修（外部）			○	○	○	○							クレフィール湖東
営業所内勤者研修		○								○			年間2回
トップ懇談会（仮題）			○	○	○								非乗務員
運行管理者基礎講習会			○							○			年2回
運行管理者一般講習会					○	○			○				年3回
初任運転士研修						○							年1回
営業所管理者研修						○							年1回
冬山走行研修（現地）										○			年1回
役職別研修											○		年1回

ガイド教育 年間計画表（実施時期）

<平成22年度>

研修名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
誘導及び左折確認要領	○												新入社員
添乗研修会			○	○	○	○			○	○	○	○	全員参加

*○印は実施時期（予定）

運転士教育 研修内容及び対象者について

(運転士教育 年間計画表詳細資料)

<平成22年度>

NO.1

研修名	研修内容	対象者	人員	回数/年	延人数
事故防止委員会	各営業所の代表者である事故防止委員と運行部委員で構成する。 事故防止を目的とした委員会であり、毎月発生した事故内容を 当該運転士を交えて精査し、今後の教育方針を決定する。	事故防止委員 (各営業所1名)	14名	12回	
事故惹起者実技指導	運転教習コースで実際にバスを使用して、8の字走行・スラローム 走行(前・後進)、車庫入れ操作などを実施。 運転操作の再確認と、事故発生時の対処方法・案内方法を教習する。	事故惹起者	5名	10回	50名
運転技術研修(自社)	運転教習コースで実際にバスを使用して、8の字走行・スラローム 走行(前・後進)、車庫入れ操作などを実施。 交通ルール教育と事故事例を紹介して安全性向上の理解を深める。	全運転士	15名	23回	345名
適性診断受診	運行部設置のナスバネットを使用して、適性診断を受診 診断内容を基に、研修担当者によるカウンセリングを実施。 また、営業所指導担当者による個別指導も併せて実施。	適性診断受診者 (3年に1度)			120名
添乗教育	営業所長、事故防止委員、運行部員を中心に添乗し、運転操作・接客方法を 個別に指導する。	運転士	50名	随時	50名
安全運転研修(外部)	中央自動車研修センターへ3泊4日の行程で運転研修会に参加	運転士	1名	2回	2名
	クレフィール湖東(滋賀)へ1泊2日の行程で運転研修会に参加。	運転士	5名	4回	20名
冬山走行研修	雪道走行未習熟者を対象に冬季前にバスを使用した雪道走行研修を実施 地理・タイヤチェーン装着・車両構造などの現地実習	運転士 (未習熟者)		1回	20名
トップ懇談会(仮題)	グループ討議を中心に、社長を含めて会社幹部同席でディスカッションを 行う。また、会社側の意向を伝え双方向型コミュニケーションを図る。	非乗務員	40名	8回	320名

研修名	研修内容	対象者	人員	回数/年	延人数
運行管理者基礎講習会	点呼執行者を中心に参加し、資格取得を目標とする。	点呼執行者	10名	2回	20名
運行管理者一般講習会	運行管理者の法定講習会参加	運行管理者	20名	2回	40名
営業所内勤者研修	運行部員が各営業所において内勤者を対象とした研修会を実施 安全方針、安全に対する取り組み方などの質疑応答も含む。	内勤者	6名	16回	96名
役職別研修	アルバイト運転士から統括班長まで6種類の役職別に研修を実施 それぞれの立場における心構えや指導方法まで内容も細分化して実施	運転士		8回	350名

ガイド教育 研修内容及び対象者について

(ガイド教育 年間計画表詳細資料)

<平成22年度>

研修名	研修内容	対象者	人員	回数/年	延人数
バック誘導及び左折確認要領	新入ガイドに、名鉄バス津島営業所内教習コースにおいてバック誘導の基本動作と周辺道路を実走し、左折時の巻き込み防止確認の要領を研修	新入ガイド全員	44名	1回	
添乗研修会	ガイド全員を対象として、相互に乗務内容を添乗形式で研修を実施 相互チェックにより案内技術並びに接客技術の向上を目指す	全ガイド	300名	2回	600名